

○第二十五回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二號

明治四十二年一月二十一日(木曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二號 明治四十二年一月二十一日 午後一時開議

- 第一 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
  - 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案
  - 國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案
  - 登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案
  - 政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案
  - 臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案
  - 北海道拓殖銀行法中改正法律案
- 明治四十二年年度歲入歲出總豫算案並明治四十二年度各特別會計歲入歲出豫算案
- 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
- 明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)
- 帝國鐵道會計法案
- 去ル十五日及去十九日桂内閣總理大臣ヨリ左ノ通り政府委員任命相成タル旨ノ通牒ヲ受領セリ

臺灣總督府技師 長尾半平

官報號外

明治四十二年一月二十二日(明治三十一年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記錄第二號 議長ノ報告

七

臺灣總督府殖産局長 宮尾舜治  
 內務省宗務局長 斯波淳六郎  
 內務書記官 土岐嘉平

內務省所管事務政府委員被仰付

一 鵜澤總明君外四名ヨリ田坂初太郎君、高野五矩君ニ係ル議員資格ニ付異議ノ申立アリタリ

一 鳩山和夫君外五名ヨリ日本大博覽會ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 花井卓藏君ヨリ裁判上軍人ニ授クヘキ權利ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 大熊三之助君ヨリ司法官増俸ノ方針竝ニ民刑局長訓示演說ニ對スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

日本大博覽會ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十二年一月十八日

提出者 鳩山 和夫 渡邊 勳十郎 村野常右衛門  
 森久保 作藏 岡崎 邦輔 漆 昌 巖  
 贊成者 板倉 中

第一 日本大博覽會ニ關スル質問主意書

理由如何

明治四十五年ニ開催セラレヘキ日本大博覽會ヲ明治五十年ニ延期シタル理由如何

第二 假リニ延期ノ理由止ムラ得サルモノアリトスルモ博覽會ノ爲メニ特設シタル機關及開設準備ノ責任者トモ謂フヘキ開催地ノ當局者等ニ對シ一應ノ諮問ヲモ爲サシテ急遽之ヲ決行シタル理由如何

第三 明治五十年ニ開催セントスル博覽會ノ性質及ヒ其準備ノ方法如何

第四 豫定ノ敷地ヲ變更スルヤ如何

裁判上軍人ニ授クヘキ權利ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十二年一月二十一日

提出者 花井 卓藏 贊成者 鵜澤 總明  
 外百一名

裁判上軍人ニ授クヘキ權利ニ關スル質問主意書

政府ハ第二十四回帝國議會ニ於テ陸軍刑法案海軍刑法案竝ニ其施行法案ヲ本院ノ議ニ付スルニ當リ本員ノ質問ニ對シ軍法會議ノ審判ニハ辯護人ヲ付スヘク又其判決ニハ上訴ノ道ヲ開クヘキ旨ヲ言明シ裁判上當然軍人ニ授クヘキ辯護權及ヒ上訴權ニ關スル法規ノ必要ヲ認メタリ本員ハ政府カ能ク言ヲ重シ信ヲ保チ法ヲ立テ案ヲ具シ軍人ノ權利ヲ鞏固ニシ軍事法律ノ面目ヲ發揮スヘキヲ信セントス敢テ問フ法案提出ノ時期如何

參考

- 一 軍刑法改正ノ機會ニ於テ裁判上軍人ニ授クヘキ權利ヲ鞏固ニシテ保障スルハ法ノ進歩ト共ニ軍人ヲ厚遇スル所以ノ要道ナリ
- 二 裁判上軍人ニ授クヘキ權利ハ之ヲ普通人ニ比シテ輕重アルヘカラス現行法ハ爰點ニ於テ法ノ要求ヲ充タサズ
- 三 軍事法廷ニ辯護人ヲ許シ又其判決ニ上訴權ヲ與フルハ各國ノ法制皆然リ寺内陸軍大臣齋藤海軍大臣ハ委員會及ヒ本會ニ於テ再三再四本員ト應テ餘アリ
- 四 速ニ其法規ヲ編ムヘキコトヲ約シタリ然シテ當時ノ速記録ハ之ヲ證明シテ餘アリ
- 五 坊間傳フル所ニヨレハ政府ハ口ヲ普通刑事訴訟法ノ改正ニ藉リ其稿ノ脫スルヲ俟テ徐ロニ案ヲ立テントスルモノノ如シ然レトモ本員ハ政府ヲ信スルノ厚キ如此鮮柄ノ下ニ軍人ニ授クヘキ貴重ナル權利ヲ閑却セサルヘキヲ信ス

右及質問候也  
 司法官増俸ノ方針竝ニ民刑局長訓示演說ニ對スル質問主意書  
 右成規ニ據リ提出候也  
 明治四十二年一月二十一日  
 提出者 大熊三之助 贊成者 石田仁太郎 外六十三名

- 一 司法官増俸ノ方針如何
- 二 明治四十二年度豫算ニ計上スル増俸額ヲ以テ斯界ニ適材ヲ得ヘキ考ナリヤ
- 三 司法大臣各地巡視ノ際隨行ノ民刑局長カ爲シタル訓示演說ハ司法省ノ方針ナルヤ又同演說ハ刑法改正ノ理由ヲ曲解シ刑事政策ヲ誤マルモノニ非ラサルナキ乎

以上第一第二ハ司法官増俸案ノ賛否ヲ決スル上ニ於テ必要ニシテ第三ハ爾來各地裁判所ニ於ケル刑ノ量定重キニ失シ刑ノ執行猶豫刑ノ起訴猶豫ノ方針ヲ誤マルモノト信スルヲ以テ茲ニ質問ヲ爲ス所以ナリ

- 一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
- 豫算委員長 栗原 亮一君 理事 森本 駿君
- 同 永江 純一君 同 上埜 安太郎君
- 同 森田 勇次郎君 同 大野 龜三郎君
- 同 加瀬 禮逸君 同 飯田 精一君
- 懲罰委員長 江間 俊一君 理事 齋藤 二郎君
- 大熊 三之助君
- 理事 小川 平吉君
- 決算委員長 立川 雲平君 理事 望月 圭介君
- 請願委員長 井上 敏夫君
- 理事 田坂初太郎君
- 一議員田坂初太郎君ヨリ左ノ辭表ヲ提出セラレタリ

拙者義衆議院議員辭職致度候ニ付御許可相成度此段相願候也  
 明治四十二年一月二十一日  
 衆議院議長長谷場純孝殿 衆議院議員 田坂初太郎

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致スコトゴザイマスガ、伊太利國ノ大地震ノ報ニ接シマシタカラ、休會中デアアリマスガ、議長ハ慰問ヲ致スノヲ當然ト心得テ、議院ヲ代表シテ其手續ヲ致シマシタ、其電報ノ要領ハ「日本帝國衆議院ハ貴帝國(シ、リ)及「カラブリア」ニ於ケル悲惨ナル震災ノ報ニ接シ痛歎ノ至ニ堪ヘズ茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス衆議院議長長谷場純孝」是ニ付テ追認ヲ求メマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○守屋此助君 議長々々

○議長(長谷場純孝君) 守屋君ハ此事ニ付テノ發言ヲスカ

○守屋此助君 唯今議長ヨリ承認ヲ求メラレタニ付テ承認スルヤ否ヤ之ヲ判斷スルタメニ議長ニ問フデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 宜シウゴザイマス

○守屋此助君 議長ガ伊國震災ニ付テ議長ノ名ヲ以テ電信ヲ出サレタト云フコトヲ新聞紙ニ拜見致シマシテ、責任アル御報告ハ唯今承リマシテゴザイマスガ、ソレニ付テ議長ニ伺フト云フ事柄ハ、議長ハ如何ナル法律如何ナル規則ニ依ッテ、如何ナル精神ヲ以テ、如何ナル手續ヲ了サレタデアリカ(「無用々々」ト呼フ者アリ)私ノ聞クトコロニ依レバ……

○議長(長谷場純孝君) 靜……

○守屋此助君 議院ノ面目ニ關ハル問題デアルト私ハ考ヘマス、如何ナル法律規則ニ依ッテ出サレタデアリカ、前ニハ無條約ナル國ニ向ッテ一ノ電信ヲ出サレタ、是モ私ガ其時カラ心ニ快シトシナカッタデアル、此度ノ事ニ付テモ伊國ノ震災ノ慘狀デアルト云フ事柄ニ付テハ、私ハ同情ヲ持ツト云フコトハ議長ニ一歩モ讓ラヌデアリマス、併ナガラ帝國議會ハ自ラ帝國議會ノ面目ガアル、唯氣ノ毒デアルトカ、同情デアルトカ云フコトカラ、議長ガ斯様ナモノヲ各國、然モ無條約ノ國ナドニアッテモ議長ガ斯様ナ事ヲ今後モ尙爲サル、ト云フ御考デアリカ、サウシテ見レバ例ヘバ支那ノ兩宮崩御ノ如キニ至ッテモ、支那ノ如キハ立派ナ一ノ條約國デアリカ、是等ニ向ッテモ今後ア、云フ例ガアルカラ、弔電トカ何トカ云フヤウナ名ニ於テ議長ハ爲サル、ト云フ御考デアリカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ約言シテ言ヘバ、今日マデ爲サレタハ如何ナル法律規則ニ依ッテ、議長ガ立法院ト云フモノガ斯様ナ事ヲ爲シ得ルモノデアルト云フ御考デアリマスガ、其御考ノ定マタコロノ原因ガ聽キタイ、第一ニハ將來尙各外國殊ニ無條約國ト雖モ世界萬國ニ凡ソアリアラユル凶事吉事ノアツタトキニハ、此帝國議會ハ是マデ左様ナ例ヲ開イタ例ハ私ハ多ク存ゼヌガ、今ノ議長ニナッテカラハ今後益、左様ナコトヲ爲サル思召デアリカト云フコトヲ第二ノ問ニ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御答ヲ致シマス、法律規則ニ處テ事ヲ掲ゲタモノハゴザイマセヌ、人道ノ上ニ於テ相當ノ事ト議長ガ認メマシタカラ、尙念ノタメ伊太利ニ對シテハ各派ノ重ナル諸君ヲ御協議ヲ願フテ、サウシテ御一同ガ異議ナク御同意ノ上ニ手續ヲ計ヒマシタ、將來ニ於テハ必ズ議院ガ開ケテ居リマストキハ、各議員ニ御諮リ致シテ、サウシテ諸君ノ御決定ニ依ッテ行フ積リデアリマス

○守屋此助君 議會ノ閉會中ハヤハリ議長ガ專斷デアルト云フデアリマスガ

○議長(長谷場純孝君) 議會閉會中ニヤッタラ其時ハ議長ガ責任ヲ負フコトニナラウト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議ガゴザイマセヌナラハ、追認ヲ得タモノト決シマス、モウ一ツ御諮ヲ致シマス、懲罰委員松田源治君ガ病氣ノタメ辭表ヲ出サレマシタ、許可シテ宜シウゴザイマセウカ、御諮致シマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕  
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガ無イト認メマスカラ、松田源治君ノ懲罰委員ハ辭任ヲ許可致シマス而シテ同君ハ第三部ノ選出デゴザイマスカラ、同部ノ諸君ハ速ニ補缺ノ選舉ヲ行ハレテ、議長ニ御届アラシコトヲ希望致シマス、ソレカラモウ一ツハ豫算委員古森泰君、村松龜一郎君病氣ノタメニ辭任ヲ申出テラレマシタ、許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕  
○議長(長谷場純孝君) 滿場異議ナイト認メマスカラ許可致シマス、而シテ古森君ハ第九部、村松君ハ第八部ノ選出デゴザイマスカラ、其部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ヲ行ハレテ議長ノ手許マデ、御届アラシコトヲ希望致シマス——總理大臣桂侯爵

〔内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇〕

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 諸君、本大臣ハ曩ニ再ビ重任ヲ辱ウスルコト、ナリマシテ、今日當議場ニ於キマシテ諸君ト相見ニ、政府所見ノ概要ヲ陳述スルノ機會ヲ得マスルノハ、誠ニ光榮ト致スコトデゴザイマス、諸君、我邦憲法實施以來其運用常ニ宜キヲ得マシテ、特ニ國家ノ大事アルニ當リマシテモ、天皇陛下ノ御盛徳ニ因ルコトハ勿論デゴザイマスカラ、維新ノ皇統ヲ依弘スルコトニ努メマシタルハ、實ニ國家ノ幸慶ト申サネバナラヌコト、存ジマス、サテ今日ノ時機ハ大戦役ヲ去ルコト未ダ甚ダ遠シト申サレマセヌ、從テ戰役各般ノ施設モ未ダ完成ヲ告ゲタリトハ申スコト出ラヌト存ジマス、昨秋、聖詔ヲ發セラレマシテ、今日ノ時機ハ實ニ外各國トノ交誼ヲ厚クシ、内國運ノ發展ヲ要シ、國民ノ努力自強ヲ要スル旨ヲ宣明セラレマシタルハ、誠ニ恐懼感激ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、本大臣ハ此時機ニ於キマシテ此重任ヲ辱ウスルコト、ナリマシタガ、不肖ナカラ諸君ノ御協賛ニ依リマシテ、罷勉勵精其責務ヲ全ウセシコトヲ期シマス、次第デゴザイマス、今ヤ締盟列國トノ交際ハ益々親密ヲ重ネ、特ニ英國トノ同盟愈々其確實ヲ加ヘマシタ、又佛露トノ協約ニ加フルニ過般米國政府トノ間ニ公文ノ交換ヲ了スルニ至リテ、兩國政府ガ執リ來リマシタルコトノ態度茲ニ明瞭トナリ、誤解ノ原因ハ一切其跡ヲ絶ツコト、相成リマシテ、從テ東洋ノ平和ハ益々鞏固ヲ加フルニ至リマシタルコトト信ジマス、諸君、本大臣ハ就任以來内政ノ改善ニ關スル方策ヲ怠ラズシテ、中央地方共ニ其實績ヲ收ムルコトニ注意致シマシテ居リマス、又財政ニ關シマシテハ、歳入歳出ノ均衡ニ留意致シマシテ、各種輸出ニ付キマシテハ、計畫變更及出來得ル限リノ整理節減ヲ行ヒマス、同時ニ、國家ノ進運ヲ扶持スルニ必要ナル事業ニ付キマシテハ、其緩急ヲ計リマシテ之ヲ遂行スルノ計畫ヲ定メマシテ、國防、教育、交通、産業等執レモ漸次適當ノ充實發達ヲ期スルコトヲ怠ラヌ考デゴザイマス、此方針ニ依リマシテ編成致シマシタ來年度豫算案ハ、已ニ本日議會ニ提出致シマシタ、幸ニ議會ノ協賛ヲ得マシテ財政ノ基礎爲ニ鞏固ヲ加ヘ、民間ノ經濟亦其調和ヲ得、國運發展ノ實效ヲ收メマスルコトハ、本大臣衷心國家ノタメニ期待スルコトデゴザイマス、尙必要ナル法律案ハ、順次議會ニ提出致シマス、又豫算其他諸案ニ付キマシテハ、本大臣又ハ各大臣ニ於キマシテ相當ノ時機ニ更ニ詳細説明致ス積リデゴザイマス、諸君、幸ニ此趣旨ヲ諒セラレマシテ、公平ナル審議協賛ヲ與ヘラシコトヲ切ニ希望致シマス、是ヨリ大藏

大臣トシテ……

〔議長、質問ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 暫ク御待テ下サイ、大藏大臣トシテノ説明ガアリマスカラ  
○大藏大臣(侯爵桂太郎君) 本大臣ハ茲ニ明治四十二年度ノ歲計豫算ヲ諸君ニ紹介スルノ光榮ヲ有シマス、明治四十二年度ノ豫算ニ計上スルコトノ歳入ハ、經常部ニ屬スルモノ四億七千六百六十七萬九千七百九十圓、臨時部ニ屬スルモノ四千五百五十三萬二千八百二十五圓、合計五億二千六百九十二萬七千七百九十五圓ニシテ、歳出ハ經常部ニ屬スルモノ四億九千九百九十二萬二千六百九十二圓、臨時部ニ屬スルモノ一億五千五百二十八萬八千六百九十二圓、合計五億五千六百八十四萬九千五百八十四圓ニシテ、歳入歳出不足ナク、而シテ經常歳入ヲ以テ之ヲ經常歳出ニ比較スレバ六千九百九十七萬圓ノ超過ニシテ、之ヲ前年度ニ於ケル經常歳入出ノ關係ニ對照スレバ、頗ル良好ナル狀態ヲ示セリ右ノ外明治四十二年度ノ豫算ヲ計上セザル費途ニシテ、明治四十一年度ヨリ繰延ベタル經費ノ内千四百三十三萬八千八百三十三圓及ビ臨時軍事費特別會計ヨリ繰延ベタル經費ノ内千九百九十二萬四千四百圓合計二千六百一十七萬四千八百二十七圓ハ、明治四十二年度ニ於テ支出ヲ要スルモノニシテ、前年度剩餘金ヲ以テ之ヲ支辨スル計畫ナリ、明治四十二年度ノ經常歳入四億七千六百六十七萬九千七百九十圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較スレバ、三千九百九十餘萬圓ヲ増加ス、此増加ヲ來ス所以ハ主トシテ一般經濟ノ發展ニ伴ヒ、租稅印紙收入、郵便電信收入及專賣益金ノ増加スルニ依ル、又臨時歳入四千五百五十餘萬圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較スレバ、九千八百五十餘萬圓ヲ減少ス、此減少ヲ來ス所以ハ主トシテ前年度豫算ニ於テハ、電話及製鐵事業費ノ財源ハ公債ヲ以テ之ニ充ツルノ計畫ニシテ、公債募集金ヲ計上シタルニ、明治四十二年度ニ於テハ之ヲ一般歳入ノ支辨ニ移シタルガタメ、公債募集金ヲ豫算ニ計上セザルト前年度剩餘金繰入ノ減少セシ等ニ依リ、明治四十二年度ノ經常歳出四億九千九百九十二圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較スレバ五百八十餘萬圓ヲ増加ス、此増加ヲ來ス所以ハ、主トシテ一面ニ於テ既定期經費ノ節約減少等アルモ、一面ニ於テ國債整理基金繰入ノ増加、並ニ既定期經費ニ基ク經費ノ増加等ニ依リ差引此増加ヲ見ル、又臨時歳出一億五千五百二十萬圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較スレバ四千四百二十餘萬圓ヲ減少ス、臨時歳出ニ於テハ一面ニ於テ新開路及敦賀築港費、監獄建築費等ヲ要シ、且ツ韓國派遣部隊費ノ月割差額、並ニ航路擴張費、航海獎勵費、電話交換擴張費等ノ増加ヲ要スルモ、一面ニ於テ既定期經費ニ屬スル繼續事業費ノ繰延ヲ爲シタリ、其他年割額ノ減少スル等ト依リ、差引此減少ヲ見ル明治四十二年度ニ於テハ鐵道ニ關シテ其會計ヲ一般會計ヨリ獨立セシムルノ計畫ヲ立テタルヲ以テ、右明治四十二年度ノ歳入出ヲ以テ之ヲ前年度ノ歳入出ニ比較スルニ當リテハ、對照ノ便宜上前年度歳入出中ヨリ鐵道ニ關スルモノヲ控除セリ、以上ハ明治四十二年度ノ豫算ノ計數ニ就キ其計體ヲ説明シタルモノナリ、本大臣ハ更ニ進んで明治四十二年度ノ豫算ニ關スル財政計畫ノ綱領ニ付キ一言セント欲ス、抑、此戰後ニ於ケル財政ノ調理ハ頗ル至難ノコトニ屬スト雖モ、歲計ヲ確實ニシ、急激ニ増加シタル公債ノ整理ヲ以テ第一ノ急務ト致ス、ソレ故ニ明治四十二年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リマシテハ、主トシテ將來涉リ歳出入ヲ整理シテ其均衡ヲ保チ、新規公債ノ發行ヲ避ケ其償還額ヲ増加シ、以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニ致シ、公債ニ對スル信用ヲ厚クシ、併シテ一般經濟界ノ調和ヲ計ルノ方針ヲ採リマシタ、此方針ハ既ニ從前ノ當局者ニ於ケレマシテモ其必要ヲ認め、將ニ其實行ニ著手セントシタルコトデゴザイマス、今ヤ其ノ計畫ヲ確立スルヲ得ルニ至リマシタルハ、本大臣ノ深ク喜ブコトデゴザイマス、此歲計ヲ定ムルニ付キマシテハ、努メテ經費ノ緊縮ヲ

圖リ、急切已ムラ得ザルモノ、外、新規要求ハ之ヲ見合セマシテ、既定ノ計畫ニ屬スルモノニ在リマシテモ、出來得ル限リ之ヲ節減スルコトヲ致シマシテ、又陸海軍備ノ復舊充實等ニ要スル繼續費、及其他ノ既定繼續費ニ付キマシテモ亦事業ノ緩急ヲ計リマシテ、其完成ヲ期スルヤウニ致シマシテ同時ニ、其各年度ニ於キマシテ進行ノ程度ヲ財政經濟ノ現況ト調和スルタメ、出來得ル限リ其年限ヲ延長致シマシテ年割額ヲ減少致シマシテ、從來ノ計畫ニ依リマシレバ鐵道電話及製鐵事業費ハ之ヲ公債ノ支辨ニ屬セシメテ置キマシテ、又臨時軍事費特別會計ヨリ繰越シマシタル經費ニ付キマシテモ、公債ノ財源ニ依リ之ヲ支辨スル計畫ヲゴザイマシテ、元來公債ハ市場ノ現狀ニ依リ其募集ノ困難ナル場合ガアルノミナラス、公債額ノ増加ハ公債ノ信用ヲ薄クシマシテ故ニ、ツレガタメニ其價額ノ回復ヲ圖ルニ當リマシテハ、先以テ公債ノ增加ヲ避ケルヲ以テ急務ト認メマシテ、從前ノ未募集公債ヲ全部打切ト致シマシテ、其發行ヲ見合セタルノミナラス、將來ニ於テモ從來公債支辨ニ屬セシメマシタルコトノ事業中、鐵道ニ付キマシテハ、別途ノ計畫ヲ立テマシテ、其他ハ之ヲ一般ノ歳入ノ支辨ニ移シマシテ、其結果新規公債ノ發行ハ特別ノ性質ヲ有シマシタルコトノ臺灣事業公債ノ外ハ當分ノ見合スコト、致シマシテ、公債ニ對シテ信用ヲ厚クシテ其價格ノ回復ヲ圖ランガタメ、公債償還額ヲ増加致シマシテ、毎年度少クモ五千萬圓ヲ償還スルノ計畫ヲ立テマシテ、明治四十二年度ニ於ケル國債整理基金繰入額ハ、一般會計ヨリ繰入ル、モノ一億五千二百四十餘萬圓ヲ、帝國鐵道特別會計ヨリ繰入ル、モノ二千九百九十餘萬圓合計一億八千二百餘萬圓ヲゴザイマシテ、內元金ノ償還ニ充テマシタル金額ハ五千八百八十餘萬圓ヲ、而シテ次年度以後ニ於キマシテハ、遞次前年度ノ元金償還ニ依リマシテ、利子仕拂ノ減少スベキ金額ヲ更ニ償還資金ニ充テ、以テ償還額ヲ遞増スル考テゴザイマシテ、帝國鐵道ノ經營ヲ獨立自營ノモノトスルノ方針ニ依リマシテ、是ニ適合スルコトノ特別會計ヲ設置致シマシテ、一般會計トノ關係ヲ避ケシムルノ計畫ヲ立テマシテ、而シテ明治四十二年度ニ於キマシテハ、其建設及改良ニ要スル資金ハ鐵道基金ヲ以テ是ニ充ツルノ外、預金部及貨幣整理資金ヨリ之ヲ借入レテ支辨セシムルコト、致シマシテ、尙明治四十二年度以後ニ於キマシテモ當分同一ノ方法ニ依リテ之ヲ支辨セシムルノ見込テゴザイマシテ、明治四十一年ニ於ケル我國ノ經濟界ハ一時甚シキ不振ヲ來シマシタルレドモ、現時漸ク順潮ニ復セントスル傾向ヲ生ジマシテ、今年ノ外國貿易ニ付キマシテ一言ヲ致シマシレバ、歐米經濟界ノ動搖、銀貨ノ下落等ノ影響ヲ受ケマシテ、輸出ノ減退ヲ見タルト同時ニ、内地經濟界ノ不振ニ依リマシテ、輸入モ亦減少ヲ來シ、輸出入總額ハ八億四千四百餘萬圓ニ止リマシテ、之ヲ前年ニ比シマシタル輸出入トモ約五千餘萬圓ノ減少トナリマシテ、此ノ如ク貿易額ノ減少ヲ致シマシタルハ商工業不振ノ結果ナリトハ申シマシタルレドモ、其前年ニ於ケル貿易額ガ一時勃興セル起業熱ノ餘波ヲ存シタルヲ顧ミルトキハ、貿易額ノ一時ノ減少ハ却テ我産業ノ漸次常規ニ復スルヲ示スモノト見ルコトヲ得ルノテゴザイマシテ、又サウ致シマシテ輸出入ノ比較スルニ輸入ノ輸出ニ超過スルコトガ約五千八百萬圓ヲゴザイマシテ、昨年ニ於ケル甚シキ變調ノ時代ニ於テ、尙輸入超過ガ前年ニ比シテ減額ヲ示シタルハ寧ろ喜ブベキ事實デアラウト存ジマス、之ヲ要スルニ財政整理ノコトハ頗ル重大ナル問題デアゴザイマシテ、整理ヲ要スル事項モ亦多岐ニ涉リ、複雑ヲ極ムルガ故ニ之ガ計畫ヲ立ツルニ當リテハ努メテ慎重ナル調査ヲ重ネナケレバナラヌト考ヘマス、而シテ其實行ニ關シテモ亦緩急其宜シキヲ制セナケレバナラヌコト、存ジマス、明治四十二年度ノ豫算ニ關スル財政ノ整理ハ其最モ急務ナリト認メマスモノニ付キ之ガ計畫ヲ立テタモノデアリマス、木大臣ハ尙十分

ノ調査ヲ遂ゲ、其整理ヲ要スト認ムルコトノモノガアレバ、緩急ヲ量リマシテ之ガ計畫ヲ立テ、實行ヲ期セント欲シテ居ル次第デアゴザイマス、幸ニ諸君ノ之ヲ諒セラレシコトヲ希望致シマス、本大臣ハ諸君ガ慎重審議速ニ協賛セラレシコトヲ希望シテ已マヌノデアリマス

〔此時發言ヲ求メタル者多シ〕

○議長(長谷場純孝君) 石橋君ハ何カ今總理大臣ノ演說ニ向テ說明ヲ請ハル、ノデアゴザイマス

○石橋爲之助君 說明ヲ請ヒタイノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 發言ヲ許シマス

○石橋爲之助君 唯今ノ大藏大臣トシテノ桂侯爵閣下ノ御演說、否ナ、御朗讀ニ付キマシテ聊私ガ此豫算案ニ對スル贊否ヲ決シマス、其態度ヲ定ムルノ參考トシテ御說明ヲ願ヒタイコトノモノガアリマス、第一ニ御說明ヲ請ヒタイト思ヒマスコトハ、本年度ノ豫算ニ於テ——來年度ノ豫算ニ於テ國債償還額ヲ從來三千万圓デアリマシタルコトノモノヲ、更ニ五千万圓以上ト云フコトニ上テラレタデアリマスサレバ茲ニ二千万圓ト云フモノハ未定ノ財源ガ出來テ居ルト云フコトデアラウト私ハ信ジマス、サウシマスルト此二千万圓ヲ何ニ用ユベキカト云フコトニ付テ、十分慎重ニ比較考慮セラレタコト、信ジマス、今日我國國民ノ輿論ト致シマシテ、惡稅ノ改廢ト云ウコトヲ叫ビ居リマス、一方ニハ又株屋銀行家等一部ノ者ガ公債償還額ノ増加ヲ希望シテ居リマス、サレバ差當リ此二ツノモノニ對シテ必々周密ナル比較考慮ヲ遂ゲラレタコト、信ジマスルガ、何故ニ國民ノ輿論デアルトコロノ惡稅改廢ニ此二千万圓ノ財源ヲ用ヰズシテ、却テ少數者ノ希望デアルトコロノ國債償還ノ増額ニ之ヲ用ユルニ至ラレタモノデアリマス、其理由ノ御說明ヲ願ヒタイノデアリマス、若又御說明ノ次第二依リマシテハ、茲ニ二千万圓ノ財源ガアタ後ニ、其使用ノ途ヲ定メタノデアリマシテ、國債償還額ヲ増加センガタメニ努メテ二千万圓ノ財源ヲ造出シタト云フコトデアリマシタルバ、更ニ尙御說明ヲ願ヒタイノデアリマス、何故ニ國民全體ノ休戚ニ關スルコトノ問題ニ對シテ、銀行家少數ノ者ノ利益ニ關スルトコロノ問題ニ對シテ取ラレル御同情、若クハ御配慮ノ熱心ヲ何故ニ有タレマセヌノデアリマセウカ、其點ヲ御說明ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ノ點ハ、當分公債ヲ募ルコトヲ見合セルト云フノ御演說デアリマシタ、否ナ、御朗讀デアリマシタ、當分ト仰セラレマシタ二字ハ私ノ耳ニハ最モ強ク響クノデアリマス、是ハ最モ注意スベキ點ト考ヘテ居リマス、故ニ此當分ト云フ文字ノ字義ヲ御說明ヲ願ヒタイノデアリマス、或ハ四十二年度限リト云フ意味デアリマセウカ、或ハ四十二年度ニモ及ブコトデアリマセウカ、其邊ノ御說明ヲ願ヒタイ、尙ソレニ附加ヘテ御說明ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、昨明治四十二年四月一日ニ井上侯爵邸ニ於キマシテ、阪谷大藏大臣ガ洋行セラレマシタル前デアリマシタルノ、當時ノ總理大臣、內務大臣、大藏大臣、外務大臣、遞信大臣、阪谷男爵、水町次官、松尾總裁、高橋副總裁、添田總裁、橋本主計局長、勝田局長、塚田整理局長、是等十三人ノ方ガ御集會ニナリマシテ、財政ノ問題ヲ御研究ニナリマシタサウデアリマスガ、其席上ニ於テ水町次官ガ井上侯爵ノ問ニ對シテ答ヘラレマシタ言ニ依リマシタル、當時正貨トシテ存在シテ居ルトコロノ金額ハ四億八百万圓ト云フコトデアリマシタ、其當時日本銀行ノ正貨準備高ヲ調ベテ見マスルト、一億四千九百七十七萬四千七百五十四圓デアリマス、是ヲ差引致シマスルト約二億五千八百萬圓ト云フモノガ四十二年四月一日ヨリ在外正貨デアルト云フコトヲ斷定スルコトガ出來マス、所ガ水町次官ノ言ニ依リマシタルト毎年政府ガ海外ニ於テ仕拂ヒマスモノノ金高ハ約



一億二千萬圓デアリマシテ、内譯ノズレバ約七千万圓ガ公債ノ利子、五千万圓ガ其  
他ノ經費ト云フコトデアリマスカ、ソレヲ四十一一年度以後ニ用ヒマシタモノヲ、今ノ殘  
高カラ差引テ致シマス、ソコヘ尙此四十一一年度ノ貿易ノ輸入超過デアリマシテ、ソレガタ  
メニ正貨ハノ位流失スル勘定アルカト云ヘバ、六千万圓ノ増加ト云フコトニナリマス、  
尙其他ニ正貨ノ出入ヲ計ルヘク、ノ原因モアリマセウカレドモ、ソレ等ハ明細ナル統  
計ガアリマセウ故ニ斷定ノ材料トスルコトハ出來マセウガ、唯今述ベマシタトコロニ依ッテ判  
斷シマスルト、現ニ今日倫敦ニ存在シテ居ルコロノモノハ、私ノ斷定ニ依リマシト七  
千八百万圓位ナモノデアラウト考ヘマス、サウ致シマスルト此四十二一年度於テハ約一億  
二千万圓ノ在外ニ仕掛金ガ要ルト云フコトデアリマスカナラバ、到底此七千八百万圓  
ヲ以テ拂切レルモノデアリマセウ、大ナル此所ニ不足ヲ生ズルノデアリマス、サウ致シマス  
ト、ドウシテモ此四十二一年度ニ於テ政府ハ外債ヲ募ラスシテハ、日本政府ノ信用ヲ海外  
ニ於テ保ツト云フコトハムカシカラウト考ヘンノデアリマス、サウ致シマスルト當分公債ヲ募  
ルコトヲ見合スト仰セラレマシタ其言ト廻歸スルコトニハ相成リマスカイカ、即チ此四十二  
年度ニ於テ公債ハ募ラヌト仰セラレマス其當分ト云フ文字ハ四十二年度ノ尙々一小部  
分ニ屬スルデアリマスカ、其邊ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ハ稅制  
整理ニ付テ一言モ御説明ガアリマセウヤウデアリマスガ、是ハ第二十三議會ニ於テ政府  
ガ國民ニ公約致シタトコロノデアリマス、故ニ今年ノ議會ニ於キマシテ政府ハ此稅制  
整理案ヲ提出セラレ、御考デアリマスカ、其御説明ヲ聞キタイノデアリマス、若シ提出セ  
ラレスト云フコトデアリマスカ、ナラバ、何故ニ國民ニ對スルトコロノ公約ヲ重シラレマセウ  
カ、其理由ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマスカ以上三點ヲ……

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

〔石橋爲之助君〕大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒマス〔ト呼フ〕

○政府委員〔若槻禮次郎君〕 唯今ノ御質問ニ御答致シマス、公債ハ御承知ノ如ク  
戰前ニ於テハ約五億圓バカリデアリマシタ、ソレガ戰後ノ今日ニ於キマシテハ約二十  
二億圓位デアリマスカ、石橋爲之助君次官ノ御説明ヲ讀フモノデアリマセウ〔  
ト呼フ〕ソレガタメニ公債ノ價ハ御承知ニナツテ居リマスカ、内國ニ於テモ八十圓臺  
ノヤウナ價ニナツテ居リマスカ、又外國ニ於テハ發行價九十九圓〔石橋爲之助君〕大  
藏大臣ノ説明ヲ願ヒマス〔ト呼フ〕四分利ノ八十圓位ニナリマシタ……

○議長〔長谷場純孝君〕 今大藏次官ニ説明ヲ許シデアリマスカ

○政府委員〔若槻禮次郎君〕 四分利半ガ九十五圓ト云フヤウニ少シ價格ガ落チテ  
居リマス……私方御答ヲ致シマス、然ル後又御尋ネニナツテ宜カラウト思ヒマス、左様ニナ  
テ居リマスルカ、此公債ノ價格ヲ回復致シマシテ、財政上ノ信用ヲ増シ、又一般公債ヲ  
所有シテ居ル人ノ利益ヲ増加スルコト云フコトハ之ニ最モ必要ナコトデアリマス、決シテ一  
部ノ銀行家等ノ利益ノミヲ圖ラザル問題デゴザイマセウ、ソレテ此事ヲ實行シマスニハ、ド  
ウシテモ公債價還ノ計畫ヲ確實ニ致シマシテ、其價還價格ヲ増スルコトデアリマセウケレ  
バナラヌト云フコト、是ガ第一ノ急務ナリトシテ此來年度ノ國債整理基金ニ於テ五千万  
圓ノ價還ノ出來マシヤウナ計畫ヲ立テテデアリマス、從前約二千七百万圓位ノ高  
デアリマシタモノガ、更ニ是ガ返セムヤウニナリマシタ、其一ツハ國庫債券ノ價還ヲ致シ  
マシタメニ、利息ノ不用ニナツタモノヲ元金ノ價還ニ充テル方ヘ持ツテ行クコトガ出來  
シタト、其外ニ約八百萬圓バカリノモノハ新ニ一般債ノ入方カガ公債價還ノ方ヘ持  
テ行クヤウニシテデアリマス、第二ノ御質問ノ當分ト云フコトハドウデアリカト云フコト  
ハ、當分ト云フノハ、公債ト云フモノハ何時デモ募レルモノデアナイ、募ル時機ノアルモノデア

ル、又一國ガ存立シテ居ル以上ハ永久公債ヲ募ラヌト云フコトハナイノデアリマスカ、  
公債ヲ募ラヌト云フコトハ宜イトキガアル又公債ヲ募ル必要ガアルトキニハ募ラヌケレバナリマセウ、又  
サウ云フ好イ時機ノアラヌ限りハ當分募ラヌ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ此本案ニ  
出テ居リマス問題以外ノコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、是ハ御答辯申上ケルコトハ  
出來マセウ、但シ正貨ノ高價ノ非常ニ少ナク、御覽ニナツテ居リマスコトハ事實デゴザイマセ  
ウ、正貨ガ少ナクメニ外債ヲ起ス必要ガアラウト云フノハ全ク事實デゴザイマセウ

○根本正君 議長

○議長〔長谷場純孝君〕 根本君ハヤハリ説明ヲ求メラレマスカ

○根本正君 私人總算大體ニ就テ説明ヲ請フノデアリマス……總理大臣トシテモ大  
藏大臣トシテモ教育基金一千万圓ノコトニ付キマシテ、何モ御述ベニナリマセウデアリ  
マシタガ、此教育基金ノ一千万圓ト云フコトハ貴衆兩院ノ建議ニ依リマシテ、即チ此二十  
七八年ノ役ノ中僅ノ間綜合セタモノデアリマス、是ハ速ニ填補スルコト云フコトガ、豫テ前  
前ノ豫算會ニ於テモ政府ガ略々其事ニ一致サレテ居ツタノデアリマス、然ルニ此度ノ豫算  
デ見マシテモ、亦唯今ノ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ是ガゴザイマセウガ、此一千万圓ト云  
フモノハ何故ニ基金ヲ立テラレタカト云ヘバ、是ハ即チ國民教育ニ付テ地方稅ト云フ  
ノガ非常ニ近來多クナツテ來テ、第二十三議會ニ於テ、即チ此小學校ノ授業料ト云フ  
モノヲ全廢サレ、又小學校國庫補助法案ト云フモノガ、通過シテ即チ一般教育ノタメニ  
國庫カラ支出スルコト云フコトヲ、法律案ガ出來タノデアリマス、其結果百万圓ツ、出スコ  
トニナツタ、ソレハ小學校ノ教員或ハ其他ニ利用スルコトナクシテ、別ノ方ノ教育獎勵  
タメニ使フヤウナコトガアツテハ、此普通教育ノ發展ガ甚ダ遲クシテ宜クナイカレシテ、此  
基金ヲ出サナケレバナラヌト云フコトニ依ツテ、即チ人民ノ希望ニ出テマテアル、故ニ一  
千万圓ノ利子五十五萬圓ツ、各府縣ニ割振リニナルモノデアリマス、故ニ二年々此基金ニ  
依ッテ各府縣平均五萬圓ツ、割宛テテ、五萬圓ツ、ヤツタ、其モノガ小學校ノ建築  
或ハ其他ノモノニ利用シテ、大ニ此小學校國民教育ト云フモノガ、發展スルコトコ  
ノ基本デアツタ故ニ若シ之ガ十年モ續キマシタラバ、一縣即チ五十萬圓ツ、ニナル、其  
五十萬圓ガ段々利子が付テ大ニ殖ヘテ、サウシテ國民教育ト云フモノガ盛ニナツテ、  
明治二十七八年ノ役ノミナラス、二十七八年役ニ依リ、今日我日本帝國ヲシテ各列  
強ノ地位ニ入ラシメ、益々國威ヲ萬國ニ輝カストコロノ一ツ、基本デアリマス、然ルニ之  
ヲ未ダ填補サレナイト云フコトハ、子供カラ借リタ金ヲ返サナイ、夫カラ借リタ金ナラ  
バ返スト云フヤウナ譯デアツテ、其小學校ヲ助ケルタメ、國民教育ヲ助ケルタメニハ借リタ  
モノヲ返サナイ、外カラ借リタモノハ返スト云フヤウナコトハ實ニ文明國ニ於テ甚ダ宜シク  
ナイ方針ト思ヒマス、是ハ當ニ文部大臣ノ責任ノミナラス、又地方ノ租稅ノ最モ憂慮セ  
ラル、トコロノ内務大臣ニ於ケレマシテモ、地方稅ノ斯ク今日多クナルト云フコトハ教育  
費ノ多ク譯デアル、ソレニハ即チ此一千万圓ヲ填補シテ、即チ其利子五十萬圓ヲ各府  
縣ニ配ルノミナラス、尙一層國民教育ノタメニ更ニ國庫ヨリ支出セヌケレバナラヌト云フ  
コトハ前々ノ建議ニアルノデアリマスガ、ソレニ付テ文部大臣ヲ始メ内務大臣大藏大臣ニ  
於テモ大ニ陳カニナツテ居リハセウカト思ヒマス、此填補ハ今年追加豫算ニ御出シニナル  
ト云フコトデアリマスカ、若シ出來マセウナラバ來年出來マスカ、其邊ノ御見込ノ御答辯  
ヲ願ヒマス

〔政府委員大藏次官若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員〔若槻禮次郎君〕 稅法整理ノ御尋ニ御答スルノ方ヲ失念致シマシタカラ、  
茲ニ補足致シマス、稅法ノコトハ政府デモ全然整理ヲ要セナイトハ認メテ居リマセウ、現ニ  
前年整理案ヲ議會ニ提出シタ位デアリマスカ、併シ當時ノ整理案ハ現在ノ歳入ヲ減セ

ナイ程度ニ於テ負擔ヲ公平ニスルコト云フコトデアリマス、是ハ議會ニ於テハ否決モナサレナカッタウニ覺エテ居リマスガ、又御同意ヲ得ル形勢デナカッタウニ思フテ居リマス、ソレテ稅制ヲ整理致シマスナラバ、ドウシテモ若干歳入ヲ減ゼンケレバナラス、然ラザレバ稅制整理ノ目的ヲ達セヌヤウデアリマス、之ニハ相當ナル財源ヲ持タケレバ實行ガ出來マセヌ、然ルニ先ニ申上ゲマシタ通り、今日ノ財政ニ於テハ爲スベキコトガ澤山デアリマス、先ツ其中ノ急務ナモノヲ實行致シマシタノデ、此歳入ヲ減ズルコトノ稅制整理ノトコロマデハ至ッテ居ラヌデアリマス、ソレカラ唯今ノ基金補填ノコトハ是又ヤハリ同シ理由デアリマス、教育基金ハ因ヨリ宜シイモノデアリマスケレドモ、是ヨリ尙一層急切ナル財政上ノ計畫ヲタメニ、是迄計畫ヲ立ツルコトガ出來マセヌノデ、補填ノ運ビニ至ラヌデアリマス

○高木正年君 私ハ總理大臣ノ大藏大臣トシテノ御演說ニ對シテ簡單ニ……(登壇々々)ト呼フ者アリ) 然ラハ……

○議長(長谷場純孝君) 簡單デアレバドウデスカ、議席デハ……

(高木正年君登壇)

○高木正年君 極ク簡單デアリマスガ、極メテ重要ノコト、自分ハ信ジマスタメニ一言質問ヲ致シ、説明ヲ乞フデアリマス、私ノ承ハラントスルハ元來此四十二年度ノ財政計畫ナルモノハ、要スルニ公債募集ヲシナイ、而モ五千八十万圓ノ金ヲ其償還ニ充テ、國ノ内外ニ於ケル財政ノ信用ヲ回復スルコトヲ以テ總理大臣ノ御趣意ト本員ハ考ヘテ居ル、即チ總理大臣ノ大藏大臣トシテ、四十二年度ノ財政計畫ヲ爲スニ、此條件ヲ以テ豫算ノ上ニモ總テ上ニモ骨子トシテ御掛ケテ居ラル、コト、私ハ信ズルデアリマス、私ハ前内閣ガ施政ノ方針ヲ誤ラズ日本ノ財政ノ總テガ攪亂セラレ、昨年以來ノ財界ノ景況ニ付キ、大藏大臣トシテ總理大臣トシテ、其方針ヲ執ラレ、其意思ニ於テハ頗ル之ヲ諒トスルデアリマス、サリナガラ先刻大藏大臣ノ御演說ニ依リマス、鐵道ニ於ケル資金其他電信電話等ノ總テノ資金ニ付テハ從來公債デアリ居タルノデアリマス、然ルニ私共ガ最モ其意思ヲ諒トシタコト、公債ヲ募集シナイ、縱令名ハ當分デアツテモ此公債ヲ募集シナイト云フコトガ、我國ノ財政ノ信用ヲ回復スル基礎トナツテ居ル以上ハ、此方針テ四十二年度及ビ二十三年度モヤツテ欲シイデアリマス、所ガ如何ニせん鐵道モ從來公債ニ依ッテ支辨セラレテアツタモノヲ借入金ヲ以テシ、此借入金ナルモノハ果シテ從來ノ公債ト何等其間ニ懸隔アルヤ、鐵道ノ資金ナルモノハ一時ノ借入ヲ爲シ、直チニ之ヲ償還スルコト云フ性質ノモノデアリト云フコトハ分ッテ居ル、所謂永久ノモノデアアル、況ヤ預金局ノ金ナルモノハ、私ガ現時此處ニ居ラレバ大藏次官ヨリ受取ツタ其材料ニ依ッテ見ルト、僅カニ五百萬圓ニ滿タナイ、其他ハ殘ラズ有價證券ニナツテ居ル、又整理基金ト雖モ十分ナ此間ニ聲價アルト云フコトハ自分等ハ信ズルコトハ出來ナイ、本年ハ三千万圓位ノ鐵道資金デアラカシテ、之ヲ充用スルコトガ出來ルデアリマセウ、併シ此金ハ決シテ一時ノ性質ニアラズシテ、即チ公債的ノ永久ノ借入デアリマスガ、之ガタメニ一面ニ於テハ公債ヲ募集セヌト云フ名ノ下ニ、他面ニ於テ公債的借入ヲ爲スノハヤハリ財政ノ基礎ニ於テ前ニ内閣ノ主義ヲ政府ハ始終變ヘナイモノト信ジナケレバナラス、此間ノ區別ハ私ニ一向分ラヌデアリマス、殊ニ驚クベキハ今若槻次官ヨリ石橋君ノ質問ニ對シテノ答辯ニ、公債ハ募集レルトキモアリ、募レナイトキモアル、當分ト

云フノハ募レナイト云フコトヲ指スノデアッタナラバ、桂大藏大臣ノ所謂公債ヲ募集シナイト云フコトハ、所謂一時ノ政略的ノ御言葉デアルト信ズルヨリ外ハナイト思ヒマス、(ロヤノ)ト呼フ者アリ)此邊ヲ十分ニ明確ニ願フハ桂總理大臣大藏大臣ハ躬自ラ豫テ我國ノ財政ノ信用ヲ回復セントスル此御勇氣ニ感シテ、私ハ此質問ヲスルデアリマスカラ、同君ノ御名譽ヲタメニモ、御自身ガ此御答辯アラントテ希望スルデアリマス

(政度委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 高木君ノ御尋ニ御答致シマス、高木君ノ御尋ノ中ニハ電話或ハ製鐵所ノ費用ヲモ、(高木君)製鐵所ノコトハ言ヒマセヌト呼フ)御尋ガアツタヤウニ伺ヒマシタガ、サウデナケレバソレハ申サナイ、借入金デ支辨スルデアリマセヌ、一般ノ收入デ支辨スルデアリマスカラ、御尋ニナラヌ分ハ申上ゲマセヌガ、チヨット申上ゲテ置キマス、問題ハ鐵道資金ニ付テ公債ヲ募ラヌト云フ、意ハ借入金ヲスルコトハ宜クナイト云フ御尋デアリマスガ、借入金モ今度政府ノ計畫ヲシテ居リマスルモノハ民間カラ募ルノデアリマセヌ、民間カラ借入レルノデアリマセヌノデ、政府ノ特別會計ノ資金ヲ同ジ政府ノ特別會計ナル鐵道ノ方ヘ貸スト云フデアリマス、預金部及貨幣整理資金ト云フ方ノ特別會計ノ資金ヲ鐵道ニ貸スト云フデアリマス、是ハ高木君ハ鐵道ノ如キ固定スルモノニ向ッテノコトデアリマスカラ、貸シタコトガサウ急ニ返ラヌモノデアナイカト云フ御尋デアツタ、從テ公債ヲ募集シナイカト云フ御尋デアリマスガ、今日議會ニ提出ニナリマシタコト、鐵道特別會計法ニ於テハヤハリ財源ハ——財源ノ一部ハ——皆デアリマセヌガ、財源ノ一部ハ公債募集金ヲ以テ充テ、居ルノデアリマス、是ハ鐵道ノ如キ有利ナ永久ノ事業ニ於テ、其建設改良ノ費用ヲ公債ノ財源ニ求メルト云フコトハ、原則トシテ決シテ惡ルイコトデアアルマイト思フ、唯如何ナル不利ノトキニモ、亦如何ニ公債ノ高ガ多イトキニモ、無理ニ公債ヲ募ラヌ鐵道ヲ經營スル、從テ公債ノ直段ハ減ツテ往ク、財政ノ信用ガ減ズルコトハ惡ルイ、故ニ當分公債ヲ募ラヌト云フコトデ、サウ云フ不利ノ時期デナク、民間ノ資金ニ壓迫ヲ加ヘナイ方法ニ於テ一時借入ラシテ、鐵道ノ經營ヲ廢シナイト云フコトニシタノガ今度ノ計畫デアリマス

(村松恆一郎君登壇)

○村松恆一郎君 私ハ甚ダ簡單ナコトデアリマスガ、事勅語ニ關スルノデアリマスカラ此處ニ登壇致シタノデアリマス、先刻總理大臣ニ御尋致シタイト思フタラ、アトニ大藏大臣ノ演說ガアルト云フコトデ差止メラレマシテ登壇ガ遅クナリマシタ、極ク簡單ニ質問ヲ致シマスガ、昨年十月十三日ニ於テ戊申詔書ナルモノヲ御發シニナリマシタノデ、此詔勅ノ御趣意タルヤ、實ニ深遠宏大ニシテ、實ニ吾々臣民ハ深ク感激シ奉ルトコロデアリマス、而シテ此御趣意タルヤ如何ニモ廣遠ニシテ如何ニモ深遠デアリマスガ、併ナガラ之ヲ極ク一言ニシテ言ヘバ、戰後ニ於テ天下ノ人心ガ淫靡ニ流レ、輕薄ニ趨リ、浮華ニ趣キ、日々ニ社會ノ風儀ト云フモノガ紊亂シタコトガ最モ主ナル點デアラウト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ政府ニ於テモ此詔勅ノ御趣旨ヲ貫徹ニ務ムルガタメニ或ハ内務大臣或ハ文部大臣ハソレト云フコトニ付テハ、單ニ此一片ノ詔勅ヲ以テ之ガ行ハレルモノデアナイト思フデアリマス、勿論忠實ナル國民ハ此一片ノ詔勅ヲ拜誦スレバ、常ニソレヲ奉々服膺スルコトハ勿論デアリマスガ、尙其御趣旨ヲ貫徹セシムルガタメニ、單ニ一片ノ詔勅ハ如何デアリマセウカ(何ノ質問デアリマスカ)ト呼フ者アリ)是ガ質問ニナル——私ノ信ズルトコロニ據リマスレバ、是ハ即チ此實踐躬行ト云フコトヲ模範ヲ天下ニ示スト云フヤウニシナケレバナラス、少クとも政府ニ立ツトコロノ國務大臣ナドハ自ラ天下ノ目標ト成ルデアリ

マスカラ、自ら實踐躬行が必要アラウト思フ、ノミナラズ總テ社會ノ上流ニ立ツル人々ハ  
自ラ模範ヲ中流以下ニ示スコトナケレバ、此御趣意ガ貫徹シナイト思フデアリマス  
ガ、若モ政府ノ大臣ガ此詔勅ノ御趣意ヲ貫徹スルタメニハ、實踐躬行ガ必要デアリト認  
メタナラバ、其方法ハ果シテ如何ニシテ行ハル、カ、否ナ、堂々タル國務大臣ガ表面ニハ此  
勅詔ノ履行ト云フコトヲ口ニシナガラ、其裏門カ相場所ノ手代ガ出入シタリ或ハ各種  
ノ運動屋ガ出入スルコトガアツテ、是ガ果シテ詔勅ノ所謂信レ信義ト云フコトニ當  
ルカ、又堂々タル政府ノ大臣ガ豫算ノ上ニ付イテ一錢一厘ノ繰延モ出來ナイト云フコト  
ヲ前年ニ斷言シテ置キナガラ、僅ニ一年立タタ間ニ非常ナ繰延ヲシテ、前言ヲ食シテ  
モ少シモ省ミズ恬然職ニ居ルコトガ果シテ是ガ惟レ信義ト云フコトニ當リマスカ、  
或ハ又最モ宮廷ニ於ケル大官ガ國民ノ倫理觀念ニ反シタル異例ナル結婚ヲスルヤウナ事  
ガ、果シテ醇厚俗ヲ成スト云フコトニ當ルデアリマセウカ(拍手起リ)「ヒヤ、ヒヤ、」ト呼フ者  
アリ、是ハ僅ニ一例デアリマスケレドモ、此ノ如クニテ實踐躬行ト云フコトヲ口ニシタコ  
ガ天下ノ臣民ハ之ニ服スルモノハアルマイト思フ、政府ハ果シテ此ノ一片ノ訓令ヲ以テ  
詔勅ノ御趣意ガ貫徹ガ出來ルト言ハレバ、或ハ是ガ實踐躬行デアルト言ハレバ、若  
シ實踐躬行ガ必要ト云フナラバ、如何ニシテ實踐躬行ノ實ヲ舉ゲラレバ、是ガ第一ノ  
質問デアル、第二ニハ此詔勅ノ忠實業ニ服シ勤儉ヲ治メト云フコトハ、消極的ノ唯  
此必要ノ生活製モ使ハズ、必要ノ衣服モ著ス、必要ノ食事モナサズシテ、唯一片ノ此  
貯蓄ト云フコトノミガ御趣意デアルヤ否ヤト云フコトデアリ、吾々ノ聞クトコロニ據レバ、今  
日各地方共ニ地方官ハ盛ニ種々ノ訓諭ヲ發シテ、種々ノ訓令ヲ發シテ祭禮モスル  
コトガ出來ナイトカ、法事モスルコトガ出來ナイトカ、或ハ婚禮モスルコトガ出來ナイト云  
フヤウナ譯デ、其結果トシテ地方ガ非常ナル不景氣ニ陥リテ居ルト云フコトヲ、吾々ハ屢々  
耳ニシテ居ルデアル、此御趣意ハ決シテサウデアアルマイト思フ、即チ是レ勤儉ト云フコト  
ハ自ラ能ク業ニ務メテ爲スベクケノ生活ヲ爲シテ、然後ニ貯蓄ヲ爲ス意味デアラウト思フ  
ニ拘ラス、地方官ハ極ク消極的ノ解釋ヲ以テ地方ノ人民ニ訓諭ヲシテ居ルデアアルガ、  
政府ノ解釋モヤハリ此點ニアルデアアルカ、之ヲ第二ニ御答ヲ願ヒタイ、總理大臣ニ御  
尋ラヌルデアリマスルガ、總理大臣ガ御出ニナリマセウカ是非總理大臣自ラ出テ御答  
ヲ願ヒタイデアアルガ、若シ御不在デアラナラバ、總理大臣ニ代ルベキ人テ御答ヲ願ヒタイ  
ヲ求メラレト云フナラバ質問ノ手續ヲナサイ

○花井卓藏君 拙者ハ質問デアリナイ、總理大臣兼大藏大臣ノ出席ヲ請フ動議ヲ提  
出シマス(贊成々々)ト呼フ者アリ、高木正年君ハ眼ガ見エナイカラ總理大臣ガ居ラル、  
モノトシテ質問サレタデアアルカ  
○千田軍之助君 經濟政策ニ付キマシテ疑ガアリマスカラ、總理大臣ニ質問致サウト  
存ジマシタケレドモ、總理大臣ハ退席セラレマシタカラ、近日更ニ機會ヲ得テ質問致サウ  
ト思ヒマス、チヨット是丈申シテ置キマス  
○議長(長谷場純孝君) 藏原惟郭君  
(此時發言ヲ求ムル者多シ)  
○議長(長谷場純孝君) 藏原惟郭君  
(此時發言ヲ求ムル者多シ)  
○議長(長谷場純孝君) 藏原君ニ發言ヲ許シマシタ  
(花井卓藏君「議場整理ニ付テ緊急動議ガアル」ト呼フ)  
○藏原惟郭君 諸君私ガ發言ノ何ヲ得マシタ(笑聲起ル)私モ此總理大臣並ニ閣員  
ニ此度申詔勅……  
○花井卓藏君 發言スルノモ宜シイガ、答ヲ得ラレナイト云フヤウナコトヲ豫期シテノ價

問ナラ無用ナ質問デアル  
○議長(長谷場純孝君) 議場整理ニ付テノ緊急動議ハドウナリマシタ「小泉又次郎君」總  
理大臣ハ不親切デアルト呼フ  
○議長(長谷場純孝君) 花井君ニ御尋シマスガ、議場整理ニ付テノ先決問題アゴザ  
イマスカ  
○花井卓藏君 左様アゴザイマス  
○議長(長谷場純孝君) ツレバハ先決問題ヲ先ニ許シマス  
(藏原惟郭君降壇)  
(此時發言ヲ求ムル者多シ)  
○議長(長谷場純孝君) 靜ニ願ヒマス  
○花井卓藏君 本員ハ初メヨリ……  
○議長(長谷場純孝君) 能ク分リマセウ

○花井卓藏君 本員ハ當初ヨリ議場整理ニ付テ動議ヲ出スト云コトハ明ニ申シテ置  
キマシタ、唯今發言ノ許可ヲ得マシタカラシテ、極ク短イコトデアリマスカラ、此席ア申シ  
マス、今日ハ總理大臣並ニ大藏大臣其他國務大臣ガ列席セラレテ、施政ノ方針ニ關  
スル政府ノ意見ヲ表明セラレシコトヲ大切ナル議會デアル、而シテ各員ガ質問セラ  
ルコトハ、大臣ノ演說ニ於テ要領ヲ得ザリシ點ニ於テ尙一層之ヲ明白ニセントスルニアル  
コトハ疑ハ容レヌデアアル、然ルニ其質問ヲ爲スニ當ツテ、微々タル政府委員ヲシテ答辯  
セシムルガ如キハ或ハ質問ノ半バニシテ此場ヲ去ルガ如キハ立憲大臣……(拍手起リ聽  
取スル能ハス極マル御覽ノ通り前年ノ内閣、吾々ノ最モ反對セシトコロノ内閣ハ今日ノ  
如キ失態ハ致シテ居ラヌデアアル、私ハ茲ニ國務大臣ノ總テハ議場ニ列席シテ、議員ノ  
質問ヲ承ハリ、而シテ之ニ對シテ答辯ヲ至スベキ責務アルモノト信ジマスカラ、此場  
ヲ立去リマシタ桂大臣殊ニ沈々後藤大臣ノ如キモノニシテ、尙更此席ニ出テ、議員ノ  
言ヲ聽キ、政府ノ所信ヲ述ベキ責務ガアルト信ズル、初メテ大臣ニナツテ(拍手スル者  
アリ)直チニ總理大臣ノ聲ヲ放ガ如キハ抑、テ生意氣デアルト信ズル(拍手起ル)本員ハ  
滿場諸君ノ同意ヲ得テ、茲ニ國務大臣ノ中缺席セルモノハ再び議場ニ出テ、質問ニ答  
フベキ責務アリト云フコトヲ告白シテ、彼等ノ出席ヲ要求スル動議ヲ提出致シマス  
(贊成々々)ト呼フ者アリ(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 能ク確メテ置キマスガ、今ノ花井君ノ先決問題ノ要ヲ摘  
デ申シマス、内閣大臣中ニ缺席シタ人ハ此處ニ出テ答辯スルヤウニ要求ヲシヤウト  
云フ動議アゴザイマスカ  
○花井卓藏君 其通りニ相違アゴザイマセウガ、言葉ヲ短クスレバ國務大臣ノ内缺席セ  
ル者ノ出席ヲ要求スル動議斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイ  
○議長(長谷場純孝君) 今ノ花井君ノ動議ニ對シテハ多數ノ贊成ガアリ、之ニ對シテ  
反對ハゴザイマセウ、是カラ採決ヲ致シマスガ、茲ニ一ツ確メテ置カナケレバナナイコトガ  
アル、之ヲ決議ヲ致シマシタト雖モ、國務大臣ガ國務ノ都合ニ依ツテ出席シナイトキハ、何  
時迄モ議事ヲ開イテ居ル……  
(ツシナコトヲ今言フ必要ハナイ)ト呼フ者アリ

○花井卓藏君 議長ノ御注意ハ本員ハ誠ニ御尤ト存ズルデアアル、何トナレバ此ノ如  
キ決議ヲ屢々徒勞ニセシ歴史ガアルデアアル、若シ惡シキ歴史ヲ履シテ此決議ノアルニモ  
拘ハラス出席ヲシナイト云フコトデアラウナラバ即チ、院議ヲ侮蔑スルデアリマスカラシテ、  
本員等ハ別ニ腹案ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 能ク確メテ置キマスガ、今ノ花井君ノ先決問題ノ要ヲ摘  
デ申シマス、内閣大臣中ニ缺席シタ人ハ此處ニ出テ答辯スルヤウニ要求ヲシヤウト  
云フ動議アゴザイマスカ  
○花井卓藏君 其通りニ相違アゴザイマセウガ、言葉ヲ短クスレバ國務大臣ノ内缺席セ  
ル者ノ出席ヲ要求スル動議斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイ  
○議長(長谷場純孝君) 今ノ花井君ノ動議ニ對シテハ多數ノ贊成ガアリ、之ニ對シテ  
反對ハゴザイマセウ、是カラ採決ヲ致シマスガ、茲ニ一ツ確メテ置カナケレバナナイコトガ  
アル、之ヲ決議ヲ致シマシタト雖モ、國務大臣ガ國務ノ都合ニ依ツテ出席シナイトキハ、何  
時迄モ議事ヲ開イテ居ル……  
(ツシナコトヲ今言フ必要ハナイ)ト呼フ者アリ

○鳩山和夫君 私ハ花井君ノ勸諭ニ少シ私ノ解釋スル如キ意味ヲ加ヘテ同意ラシヤウト思フノアル、詰リ花井君ハ唯今此議院ノ席ヲ去ラレテ桂總理大臣其他ノ人ノ出席ヲ要求スルト云フコトデアリマス、是ハ詔リ議長カラモ御尋ガアツガ、私共モヤハリ總理大臣ノ出席ヲ希望スルノアル、ソレアルカラシテ當院ニ於テハ桂總理大臣以下ノ出席ヲ希望スルト云フ意味ニ於テ、ソレヲ決議スルノハ一向差支ナイト思ヒマス、此意味ニ於テ贊成ヲ表シマス

○議長(長谷場純孝君) 花井君ノ勸諭ハ出席ヲ要求スルト云フコトニナラテ居ルシ、ソレカラ今鳩山君ハ之ヲ希望スルト云フ意味ヲ以テ同意ラシヤウト云フコトデアリマス、○花井卓藏君 要求ト申シマシテモ希望ト申シマシテモ意味ハ變リハゴザイマセヌカラ、鳩山君ノ解釋通りテ結構デス、要求ト云フ位ノ強キ意味ヲ以テ往ク方ガ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、現内閣ニ好意ヲ表スル趣意ニ於テ、種ナル文字ヲ用井テモ本員ハ一向差支ナイ

○議長(長谷場純孝君) 花井君ハ希望ト云フコトニ於テモ差支ナイト云フ先決問題ノ勸諭ニ御異議ハゴザイマセヌカ  
○議長(長谷場純孝君) 滿場一致ヲ以テ其通り決シマス、藏原惟郭君  
○藏原惟郭君 拙者ハ總理大臣出席ノ上ニ於テ發議シマス  
○武藤金吉君 私ハ留守デモ質問ヲ致シタウゴザイマス、宜シウゴザイマスカ  
○議長(長谷場純孝君) 説明ヲ請フノデアリマス  
○武藤金吉君 私ハ外務次官デモ宜イ、外務次官デハナイ、大藏次官デ宜シイノデアリマス、私ハ此議入議出ノ部分ニ付キマシテ大藏次官——大藏大臣ガ居リマセヌカラ大藏次官ニ質問ヲ致シタウゴザイマス  
○河野廣中君 チョット御注意シマス、院議ニ戻リマスカラ——發言ヲ御許ニナリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 今武藤君ニ發言ヲ許シテ居リマス  
○河野廣中君 院議ニ戻リマスカラチョット御注意ヲ申シマス  
○議長(長谷場純孝君) 武藤金吉君、河野君ガ少シク注意ヲ喚ブト云フコトデアリマスカラ、チョット御待チナサイ  
○武藤金吉君 歳入議出……  
○議長(長谷場純孝君) 武藤君河野君ニ今許シマシマス  
○河野廣中君 私ハ唯今總理大臣ガ御出ニナリマシタカラ述べル必要ハゴザイマセヌ  
○議長(長谷場純孝君) ソレヤヤ武藤君

○武藤金吉君 大體ノ歳入ヲ見マスルニ、官業ニ付テ説明ヲ請ヒタイノデアリマス、例ヘバ各稅率ノ中ニ於キマシテ、所得稅ノ如キ、地租ノ如キ、又營業稅ノ如キ、其他間接國稅ノ如キハ遠慮會釋ナク請求ラシテ、其甚シキニ至リマシテハ一年ノ間ニ於キマシテ六七割以上モ増加ラシテ營業稅ノ如キモノハ賦課シテアルモノガアル、又間接國稅ニ於キマシテハ織物稅ノ如キ一割ヲ標榜シテ居ルニモ拘ハラズ、其所ニ依ツテ或ハ其六割ヲ取り乃至七割ヲ取ルト云フ如キ結果ヲ生ジタ、又官業ノ收入ヲ見マスレバ、我稅源ノ中デハ最も其大ヲ致スベキトコロノ煙草ノ收入ノ如キハ存外ニ少ナイノデアリマス、之ヲ酒ノ稅ニ較ベマスト、煙草ノ收入ハ殆ド三千万圓以上ノ減額ヲ致シテ居ル、尙政府ハ

此煙草等ニ依テ此收入ヲ増スノ方法ガアルヤ、又此造兵廠ノ各造兵廠砲兵工廠等ノ收入ヲ見マスレバ、其收入ハ四十二年度ニ於テ僅ニ一千万圓シカナイノデアリマス、此ノ如ク此官業上云フモノハ各方面ニ涉リテ見マスレバ、其收入ノ徵々タルト云フコトハ驚クベキコトデアル、殊ニ此官業ニ付キマシテハ又大ニ改善ラシテ收入ヲ増スノ方法ハ吾ハ大ニアルト信スルノアル、然ルニ徒ラニ極マリ切タトコロノ稅ハ請求ラシテ、店ヲ閉アルマデ嚴格ニ取立テ、サウシテ官ノ事業ト云フモノハ鐵道ニ於テモ煙草ノ專賣ニ於キマシテモ、其他海陸軍ノ此事業ニ於キマシテモ、遞信省ノ事業ニ於キマシテモ、實ニ此亂暴ナル——亂暴ナルコトハ甚シイノデアル、諸君、實ニ此各官業ノ工場ヲ見ルト役人ヲ始メ職工ヲ始メ此多大ノ賃銀ヲ取ル外ニ、皆物品ヲ盜シテ持テ來ルト云フ如キ殆ド通常ノコトニナラテ居ル、此等ノコトヲ整理ヲ致シマスレバ三百萬圓乃至五百萬圓、一千万圓ヲ増加スルコトハ何デモナイ、私ハ此監獄ニ付テモ一三百萬圓位ノ増加スルコトガ出來ル、況ヤ其他ノ營利事業ニ於キマシテハ十分ニ増加スルコトガ出來ヤウト思フノデアル、此邊ノコトハ徒ラニ此惡稅ノ改廢ヲ爲サズシテ、請求ラシテ官營ニ付テ收入ノ増加ヲ計ル見込ガアルカナイカト云フコト、此豫算ヲ議スルニ付テハ確メテ置ク必要ガアルト思ヒマスカラ、當局者ノ明細ナル精明ヲ望ムノデアリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 稅ノ徵收ノコトデアゴザイマセヌガ、營業稅ニ致シマシテモ、所得稅ニ致シマシテモ、無理ニ請求スルト云フコトハヤテ居リマセヌノデ、極ク負擔ノ公平ヲ計ルト云フコトデ、此間漏レテ居ルモノガアルレバ之ヲ徵收スルト云フ精神ヲ以テヤテ居リマス、勿論世間ニハ随分イロ／＼ノ議論ガゴザイマスカラ、御承知ノ如ク最近ニ於テ大藏省ハ能ク注意ヲスルルヤウニ訓令ヲ出シマシタ、ソレカラ官業ノコトニ付テハ煙草ハ前年ヨリモ減テ居ルヤウナコトハゴザイマセヌ、又増方モ唯今申上ゲルヤウニ、四百萬圓ヲ増シテ居リマス、其他兵器ヲ造リマセヌ所ノ如キハ是ハ營利ノ事業デアゴザイマセヌカラ、其所カラ歳入ヲ増シテ往クト云フコトハ出來マセヌ、歳入ヲ取ルベキ方ノ官業ハ相當ノ歳入ヲ増ス方法ヲ請フテ居リマス  
○議長(長谷場純孝君) 藏原惟郭君

○藏原惟郭君 發言ノ前ニ議長ニ「ト呼フ」  
○村松恆一郎君、藏原君ノ發言ノ前ニ議長ニ「ト呼フ」  
○藏原惟郭君 私ハ總理大臣ノ施政ノ方針演說ニ付テ質問ガアリマス、其要旨ヲ簡單ニ申上ゲルノデアリマス、施政ノ方針ハ確ニ詔勅ニ基イテ居ルト云フコトハ疑フベカラザルコトデアル、此點ニ於テ一人ノ諸君ノ間ニ異議ナイト信シマス、又詔勅ノ森嚴ナルコト、其御趣旨ノ宏遠ナルコトニ付テハ、先ニ村松君ノ言ハレタ通り、徹頭徹尾我輩ハ同感デアル、國民舉テ此御趣旨ノ徹底ヲ圖ラナケレバナラヌ時機アルト信スル、然ルニ總理大臣ハ堂々タル施政方針演說ニ於テ此詔勅ト理財上ニ關スル點ニ付テハ、聊カ御話ガアツタヤウデアルガ、其根本タル世道人心ノ作興ノ上ニ於テハ總理大臣ノ言句一言モ及バヌト云フコトハ何タルコトデアルカト思フ、殊ニ總理大臣今日演說セラレ、ハ唯單ニ朗讀デアル、而シテ冷静冷淡氷ノ如シデアル、果シテ國事ヲ思フニ彼ハ熱心ナル精神ヲ持タレカ、我輩疑感ナキヲ得ナイ、モトモ精神ヲ籠メ、膽力ヲ籠メ、即チ詔勅ノ趣旨ヲ徹底スルメニハ感泣感激以テ當ラント希望スルノデアリマス、即チ世道人心ヲ作興スル上ニ於テ、詔勅ノ御趣旨ヲ如何ニシテ總理大臣初メ各大臣ハ之ヲ徹底セントスルカ、其方法手段ニ付テ開キタイ、又今日ハ如何ナル手ヲ盡シ居ルカ、如何ナ

○藏原惟郭君 發言ノ前ニ議長ニ「ト呼フ」  
○村松恆一郎君、藏原君ノ發言ノ前ニ議長ニ「ト呼フ」  
○藏原惟郭君 私ハ總理大臣ノ施政ノ方針演說ニ付テ質問ガアリマス、其要旨ヲ簡單ニ申上ゲルノデアリマス、施政ノ方針ハ確ニ詔勅ニ基イテ居ルト云フコトハ疑フベカラザルコトデアル、此點ニ於テ一人ノ諸君ノ間ニ異議ナイト信シマス、又詔勅ノ森嚴ナルコト、其御趣旨ノ宏遠ナルコトニ付テハ、先ニ村松君ノ言ハレタ通り、徹頭徹尾我輩ハ同感デアル、國民舉テ此御趣旨ノ徹底ヲ圖ラナケレバナラヌ時機アルト信スル、然ルニ總理大臣ハ堂々タル施政方針演說ニ於テ此詔勅ト理財上ニ關スル點ニ付テハ、聊カ御話ガアツタヤウデアルガ、其根本タル世道人心ノ作興ノ上ニ於テハ總理大臣ノ言句一言モ及バヌト云フコトハ何タルコトデアルカト思フ、殊ニ總理大臣今日演說セラレ、ハ唯單ニ朗讀デアル、而シテ冷静冷淡氷ノ如シデアル、果シテ國事ヲ思フニ彼ハ熱心ナル精神ヲ持タレカ、我輩疑感ナキヲ得ナイ、モトモ精神ヲ籠メ、膽力ヲ籠メ、即チ詔勅ノ趣旨ヲ徹底スルメニハ感泣感激以テ當ラント希望スルノデアリマス、即チ世道人心ヲ作興スル上ニ於テ、詔勅ノ御趣旨ヲ如何ニシテ總理大臣初メ各大臣ハ之ヲ徹底セントスルカ、其方法手段ニ付テ開キタイ、又今日ハ如何ナル手ヲ盡シ居ルカ、如何ナ



ル働ヲ爲シ居ルカ、此件ニ付テモ明白ナル答辯ヲ私ハ總理大臣ニ求ムルノデアアル、是レ私ガ茲ニ質問スル所以デアリマス

○村松返一郎君 先刻私ノ質問ニ對シテハ御答ガナイト云フコトデアリマスガ、ソレハ總理大臣ガ御出デナカッタカラ御答ガナイトデアアルカ、又或ハ御答ガ出来ナイト云フノデ御答ガナイトデアアルカ、若シ總理大臣ガ御出ガナカッタメ御答ガナイト云フナラバ、私ハ再ヒ繰返ス覺悟デアリマス

(内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇)

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今藏原君カラ御質問ガゴザイマシメガ、勅語ニ對シマシテ恐レナガラ答ヘル譯ニハ參リマセヌ、無論勅語ヲ奉戴致シマシテ諸君ト共ニ御趣意ノ徹底スルヤウニ致ス考テゴザイマス

(松田源治君登壇)

○松田源治君 私ハ桂總理大臣ガ唯今戊申ノ詔勅ヲ貫徹スルコトニ務メルト申シマシメタガ、桂總理大臣ノ品性ハ如何デゴザイマセウ……不急ナル土木工事ヲ起シ其他品性ノ劣等ナルコトハ多クアルノデゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 松田源治君 人身攻撃ニ涉テハナリマセヌ

○松田源治君 桂總理大臣ハ地方官會議ニ出マシテ地方官會議ニ臨ミマシテ(問題外ト呼フ者アリ)私ハ此戊申ノ詔勅ニ付テ感激ニ堪ヘナイト云フコトヲ申シテ居ル、然ルニ桂總理大臣ノ言動ハ皆品性ノ修養ト云フコトヲ意テ居ルノデアアル、諸君此桂(質問無用ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 質問ノ主旨ヲ御話シナサイ

(謹聽々々ト呼フモノアリ議場騒然)

○松田源治君 桂總理大臣ノ即チ行ハ一私人ノ行テハナイノデス、天下萬民ノ師表トナル人間デアアル、即チ戊申ノ詔書ヲ實行スル、躬踐實行ノ職務ニアル人間ガ、品性ノ劣等ナルコトヲスルナラバ、實ニ私ハ此聖旨ニ背クコト甚シト思フデアリマス、亞米利加合衆國等ノ政治家ハ即チ華盛頓デアレ「リンカン」デアアル、自己ノ品性ヲ高メテ以テ即チ堂々タル模範ヲ示シテ居ルノデアアル(無用々々ト呼フ者アリ、發言ヲ求ムル者多ク議場騒然)

○議長(長谷場純孝君) 松田君、松田君、松田源治君無禮ノ言ヲ用井ヌヤウニ注意シマス

○松田源治君 即チ要スルニ桂總理大臣ハ戊申ノ詔勅ニ反スル行動ヲシテ、サウシテ即チ聖旨ニ感激シテ居ルト云フコトハ矛盾ナル話デアアルト考ヘルノデアアル

○議長(長谷場純孝君) 松田君、議論ナラ許シマセヌ

○松田源治君 トウカ如何ナル心得テ居ルカ、或ハ國民ノ代表者トシテ是ハ最モ必要ナルコトデアリマスカラ、如何ナルコトデアリマスカ、明瞭ナル答辯ヲ仰ギタイト思ヒマス

(日程ニ入ランコトヲ望ミマスト呼フ者アリ)

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(長谷場純孝君) トウデゴザイマセウカ、随分……

(豫算ノコトニ付テハ豫算委員會ニ於テ質問スヘシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 質問ハ豫算委員會其他ニ譲ルコトニシテハドウデゴザイマセウ

○大岡育造君 大分質問モ盛シニ出マシテ、大概茲デ盡キマシタモノト認メマスカラ、本案ニ對シテハ最早議事ノ進行ヲ爲サデ宜カラウト思ヒマスカラ、御注意ヲ致シマス

(贊成々々ト呼フ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 大分質問モ盡キタト思ヒマスカラ、質問ハイツレ他ノ時機ガアリマセウカラ是カラ他ノ問題ニ移リマス、諸君ニ御諮ラ致スコトガアリマス二十一日ヨリ二週間議員市田兵七君、二十一日ヨリ向フ三週間議員村松龜一郎君ヨリ各々請暇ヲ願出デラレマシメテ、許可シテ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、モウ一ツ御諮ラ致シマス、第三部ノ諸君ハ懲罰委員松田源治君ノ補缺選舉ヲ請願委員室ニ於テ、第八部ノ諸君ハ豫算委員村松龜一郎君ノ補缺選舉ヲ第八委員室ニ於テ、第九部ノ諸君ハ豫算委員古森泰君ノ補缺選舉ヲ第一委員室ニ於テ散會後ニ行ハレシコトヲ希望致シマス、議事日程ニハ前ニ御諮ラ致シマス、先刻……

(議場整理ノコトニ付テ質問ガアリマスト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 今御諮ラスルコトガゴザイマス、先刻朗讀致サセマシタ通り、田坂初太郎君ガ辭表ヲ提出致サレマシメ、此辭職願ニ付テハ議院規則ノ第六百六十五條ニ依リ、討論ヲ須井ズシテ許否ヲ決シナケレバナリマセヌ、之ヲ議題トシテ此處デ決シヤウト思ヒマス

○大岡育造君 唯今ノ御諮ラニナリマシタ問題ニ付キマシテハ討論ハ致シマセヌガ、既ニ資格ニ對シテ異議ノ申立ガアル件デアリマスカラ、今日ハ此議事ヲ御延バシナルヤウニ希望致シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○花井卓藏君 議長

○議長(長谷場純孝君) 花井君ハ……

○花井卓藏君 唯今大岡君ノ御演說ニ對シテ私ノ意味ヲ以テ贊成ラシマス、大岡君ノ申サレタ言葉ノ中ニ資格審査ノ問題モアルカラ、斯ウ云フコトガアッタデアリマス、私ハ資格審査ノ問題モアルカラト云フコトノナイ意味ニ於テ、議事延期ニ贊成ラシマス、サウ致シマセヌト後ニ大變ナ煩シキ問題ガ起ルヲラウト思フデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 今大岡君ノ田坂君ノ辭表ニ付テハ決議ヲ延期スルト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) ソレチヤ延期スルト云フコトニ決シマス

○神崎東藏君 議長

○議長(長谷場純孝君) ドナタデスカ

○神崎東藏君 神崎東藏サン

(笑聲起ル)

○議長(長谷場純孝君) 神崎東藏君

○神崎東藏君 先刻松田源治君ガ病氣ノ故ヲ以テ懲罰委員ヲ辭スルト云フコトデアリマシタ、吾々ハ病氣デアルト云フコトヲ信シテ之ヲ認メタノデアリマス、然ルニ其病人ガ精神病者デアルカドウカ分ラヌガ、演壇ニ立ッテ而モ人ノ品性ニ關シテ無禮ナル演說ヲスルヤウナ、斯ウ云フ病人デアラバ、何ガ故ニ懲罰委員ヲ辭シタノデアアルカ、私ハ斯ル不都合ナコトハナイト思ヒマスカラ、松田源治君ヲ懲罰委員ニ附シタイト思ヒマス、緊急動議デアリマス

(笑聲起ル贊成々々ト呼フ者アリ)

○松田源治君 私ハ病氣ナデス、即チ急性腎臟炎デ十二月十二日カラ臥テ居ルノ

デゴザイマス、緊急ノ用事ナケレバ出ナイノデゴザイマスケレドモ、今日ハ即チ大切ナル議會アルカラ出マシテ、殊ニ戊申ノ詔書ニ付テ内閣總理大臣ハ實踐躬行スルト言フテ居リナガラ、實踐躬行スルトコトガナイカラ、之ニ敵シマシテ私ハ醫者ノ禁ヲ破ラテ登壇シテ質問シタノデゴザイマス、實際ニハ醫者ニモ掛テ居テ立派ナ病人デアラフテ、マメ出ルノヲ禁ゼラレテ居ルノデアリマス——モ少シ神崎君必要ナラ診斷書ヲ見セマセウ

○議長(長谷場純孝君) 神崎君ノ緊急動議ニ定規ノ賛成ガアリマスカ  
〔「ナイ」〕「賛成」又「反對」ツシナコトヲ居テハ果ガナイ話ダ」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) モウ是ハ討論ヲ須非マセヌヲ採決ヲ致シマス——採決ヲ致シマス、定規ノ賛成ハアルト認メマス、神崎東藏君ノ説ノ即チ松田源治君ヲ懲罰委員ニ附スルト云フ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數  
○議長(長谷場純孝君) 少數ニ付キ成立致シマセヌ、モウ一ツ議事日程ニ移ル前ニ御諮ヲ致シマス、即チ先ニ御報告致シタ議員田坂初太郎君、高野孟矩君、兩君ノ資格ニ對シテ鵜澤聰明君外四名ヨリ異議ノ申立ガアルニ依リ委員ニ附スルノ必要ガアラウト思ヒマス、ツレバ本件ハ議員ノ進退ニ關スルコトデゴザイマスカラ、此際先決問題トシテ右資格審査委員ヲ選舉シ、サウシテ其選舉スル委員ノ數ヲ十八名トシ、議長ニ於テ指名スルヤウニ取計ヒタイト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) ツレバ此資格審査委員ノ數ヲ十八名トシ、選舉ハ議長指名トスルコトニ決シマス——是ヨリ議事日程ノ第一ニ移リマス

第一 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

第四條中「明治四十二年三月三十一日」ヲ「明治四十四年七月十六日」ニ改ム  
○議長(長谷場純孝君) 此議案ハ極ク單純ナル議案デゴザイマスカ、朗讀シマスカ省略シマスカ

〔「省略々々」ト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) ツレバ朗讀ヲ省略致シマス——若槻大藏次官

○政府委員(若槻禮次郎君) 外國カラ輸入致シマス粗糖ヲ以テ精製糖ヲ造ルト云フト、其原料ノ粗糖ニ掛テテアリマス關稅ヲ戻スト云フノガ唯今ノ法律ノ規定デアリマス、是ハ外國カラ輸入致シマス精製糖ニ付テハ、日本ハ、外國ト稅率ヲ協定シテ居ルカラ、一割ノ稅ヲ掛ケマスヨリ以上ニハ課稅スルコトガ出來ヌノデアリマス、ツレバ故ニ若シ外國カラ輸入シマシタ原料糖ニ約四割ノ稅ガ掛テ居ルカラ、ツレバ原料トシテ砂糖ヲ精製シマスト云フト、内地テ造リマシタ精製糖ハ外國カラ輸入シマストコロノ精製糖ト競争スルコトガ出來ヌコトニナリマスカラ、ツレバ此法律ガアルノデアリマス、此法律ハ本年ノ三月三十一日テ期限ガ切レルノデアリマス、併ナガラ稅率ノ協定ト云フコトハ尙四十四年ノ七月ノ十六日ニ至リマスマデハ變ヘルコトガ出來マセヌ、是ガ變リマセヌ限リハ、ヤハリ前申上ゲルトコロノ内地精製糖ト外國精製糖トノ競争上ノコトガアリマス、故ニ更ニ稅率ノ自由ニ制定セラル、時期マデ原料糖ノ戻稅ヲ繼續シヤウト、斯ウ云フノガ此法律ノ趣意デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御質問ハアリマセヌカ、御質問ガナケレバ議事日程ノ第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
○元田肇君 本案ハ議長指名ノ委員二十七名ニ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 元田君發議ノ如ク、本案ノ委員ヲ二十七名トシテ、其選舉ハ議長指名ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——議事日程ノ第三

第三 國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會  
國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

附則  
本法ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(長谷場純孝君) 是ハ議案ノ朗讀ハドウデゴザイマス

〔「省略々々」ト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) ツレバ省略致シマス、若槻大藏次官——議案ノ説明ハ第三ト第五ト第七ガ關聯シタ議案デアルカラ、同時ニ説明シタイト云フ政府委員ノ要求デアリマス

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) ツレバ其通り決シマス

第五 登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會  
第七 政府ニ對スル保證金其他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案(政府提出)

登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案  
法令ノ規定ニ依リ擔保トシテ國債證券ヲ供託又ハ寄託スル場合ニ於テハ證券ヲ發行セサル登錄國債ニ付テ擔保ノ登錄ヲ受ケケ之ニ代フルコトヲ得  
政府ニ對スル保證金其他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案  
政府ニ對スル保證金其他ノ擔保トシテ提供シタル國債ヲ法令ノ規定ニ依リ公賣スヘキ場合ニ於テハ國債證券買入銷却法ニ依リ其ノ國債ノ債權金額ヲ以テ之ヲ買入レ銷却スルコトヲ得  
〔政府委員若槻禮次郎君發議〕  
○政府委員(若槻禮次郎君) 公債ノ價格ヲ回復維持致シマスニハ、勿論公債ノ價還計畫ヲ確實ニ致シマシテ、其償還額ヲ増スト云フコトアルノデアリマス、是ニ付テハ政府ハ別ニ豫算ヲ以テ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマスガ、尙其他ニ公債ヲ持ッテ居リマス者ニ便宜ヲ與フルト云フコトガ、又價格ノ回復維持ニ大變效能アルコトデアリマス、故ニ茲ニ唯今議題ニナラシメ居リマス問題竝ニ其次ニアリマス一ツノ法案ヲ提出シタノデアリマス、其第一ノ分ハ所得稅ノ免除デアリマスガ、唯今ノ公債ニハ所得稅ノ掛

テ居リマス物ト掛テ居リマセヌ物ト兩様ノ物ガアリマスガ、今後ハ凡テ所得稅ヲ掛ケナイ  
 ヤウニテ公債所有者ノ利益ヲ増サウト云フノガ所得稅免除ノ案デアリマス、ツレカラ唯今  
 ノトコロデ公債ノ債券トシテ持テ居ルコトモ出來マスガ、又日本銀行ニアリマスとコロノ公  
 債ノ原簿ニ登錄シテ持ツコトモ出來マス、此登錄シテ持ツコトハ大變便利ノコト  
 デアリマスガ、只登錄シテアルモノヲ其擔保ニハレル手續ガ極メデアリマセヌコトガ不便デ  
 アリマス、故ニ此手續ヲ定メルト云フノガ登錄公債ノ擔保充用ト云フ法案ノ趣意デアリ  
 マス、ツレカラ公債ノ取扱ニ便宜ヲ與フルト云フニハ、又之ヲ擔保ニ致シマシタ場合ニハ、  
 其價格ノ見方ヲ宜クスルト云フコトガモウ一ツデアリマス、ツレ故先頃勅令ヲ以テ公債ヲ  
 政府ノ方ニ擔保ニ入レマス場合ニハ、額面テ之ヲ取ルコトニ致シマシタ、併ナガラ萬一  
 公賣ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ場合ガ起リマス、時價ト額面トノ間ニ差ガ出來マ  
 シテ、之ヲ擔保ニ取テ居ル會計ツレダケ收入ノ缺損ヲ生ズルコトニナリマスカラ、此ノ如  
 キ場合ニ於テハ丁度ツレ丈國債整理基金ヲ以テ償還スルコトニ致シマシテ、其目的  
 ル歲入ニ缺損ヲ生ゼヌヤウニシヤウト云フノガ、是ガ第三ノ政府ニ對スル保證金云々ト  
 云フ法律案ノ趣意デゴザイマス、ドウゾ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○森本駿君 其缺損ヲ生ズル豫算ハ凡ソドノ位デアリマス

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ殆ド餘計アルマイト思ヒマス、萬一アリマシタトキ  
 ニ國債整理基金ヲ買フト云フダケテ、唯今豫算シテ居ルトコロデハ殆ド無カラウト思ッテ  
 居リマス

○議長(長谷場純孝君) 第二ハ別ニ御質問ガナケレバ議事日程第四右議案ノ審査  
 ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○鈴木力君 所得稅免除ノ總額ハドノ位ニナリマスカ

〔ツレハ委員會テ宜シト呼フモノアリ〕

○議長(長谷場純孝君) ツレハ委員會テ……

○元田肇君 唯今說明ニナリマシタニツノ議案ヲ議事日程トシテ順序ヲ追フデアリ  
 マスガ、便宜ノタメ一緒ニ申立テマスガ十八名ノ委員トシテ右三案ヲ共ニ委託サル、コ  
 トニ致シタイト思ヒス、其選舉ハ議長ニ一任スルト云フ勸議ヲ起シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 議事日程第三、第五、第七此三案ヲ十八名ノ委員ニ一  
 任シタイト云フ……

○島田三郎君 唯今議員ノ中カラ公債ニ於ケル所得稅ノ總額如何ト云フ問ヲ發シ  
 マンダノア、政府委員ハ欣然トシテ是ニ答ヘントシタノヲ、議長ハソレハ委員會テト云フ  
 言葉テ遂ニ是ガ止メ、今日各派ノ代表者ヲ御呼ビニナツテ議長カラ御話ニナツタ、世  
 ノ中ニ知レテ居リマス衆議院書記官長ノ提案……

○議長(長谷場純孝君) 一言御言葉中デアリマスガ辯シマス、議長カラ委員會テト  
 云ウタ譯デアナイ、議席カラ委員會テ宜イト云フコトデアリマシタ、ツレハドチラモ宜シイ  
 ○島田三郎君 本會ヲ根柢トシテ委員會ハ下調デアリマスカラ、普ク議員ノ人ニ事實  
 ヲ聞クコトノ出來ル議事ノ體裁ニシタイト云フノガ吾々ノ精神デアリマス、左様ナル發議  
 ガアリマシタナラバ議長ハ今朝ノ御申合セニナツタ主意ヲ御制シニナルガ至當ト思フ、今朝  
 議長カラ特ニ吾々ヲ御呼ビニナツテ御申合セニナツタ規則ニ據ルト、公然タル議會テ答辯サ

セルガ本則デアアル、左様ナル發議ガアレバ議長カラ御制シニナツテ答辯セルガ宜カラウ  
 ト思ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 宜シイ

第六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第八 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 所得稅ノ額ハ約八十六萬圓デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ發議即チ此議事日程第三、第五、第七、之ヲ一  
 括シテ十八名ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) サウシテ其選舉ハ議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 元田君發議ノ通り決シマス——日程第九ニ移リマス

○議長(長谷場純孝君) 議案ノ朗讀ヲ省略シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

第九 臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期  
 限ニ關スル法律案

臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ヲ所持スルモ  
 ノハ明治四十二年十二月三十一日迄ニ其ノ引換方ヲ臺灣銀行ニ請求スヘシ  
 前項ノ場合ニ於テハ銀ノ時價ニ依リ金貨又ハ臺灣銀行ニ於テ現ニ發行スル  
 銀行券ヲ以テ之ヲ引換フヘシ但シ銀ノ時價ハ臺灣總督ノ告示スル所ニ依ル  
 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 臺灣ノ一圓銀貨ハ幣制ノ統一上其通用ヲ禁ジテ居  
 リマシタガ、唯政府ハ納メマストキノミ之ヲ取ツテ居リマシタ、ツレガ銀價ノ下落ノタメニ  
 更ニ又臺灣ニ銀ガ這入ッテ來マス弊害ガアリマシタタメニ、公納ニ取ルコトモ亦昨年八月  
 限り廢シマシタ、元ニナリマス銀貨ヲ廢シマシタ故ニ、之ヲ引換ル元ニ致シテ居リマス、臺  
 灣銀行ノ銀貨引換ノ銀行券モヤハリ昨年十二月三十一日限り通用ヲ廢止致シマシ  
 タ、ツレニ現實マダ市場ニ出テ居ルモノガ約二萬圓ハカリアリマスカラ、ツレノ引換期限ヲ  
 定メテアル必要ガアリマスノデ、此案ヲ提出シタ次第デアリマス

○議長(長谷場純孝君) 質問ハアリマセヌカ

〔無シト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) ツレハ議事日程第十

第十 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○元田肇君 此委員ハ議長指名ノ委員九名ニ付託シタイト考ヘマス

官報號外 明治四十二年一月二十二日 衆議院議事速記録第三號 議事日程第四、第六、第八乃至第十ノ件

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ  
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ元田君發議ノ通り、議長指名ノ委員九名ト決シマス  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 議案ノ朗讀ヲ省略シテ宜シイカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 議案ノ朗讀ヲ省略シテ宜シイカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

第十一 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第十二條乃至第十四條及第二十條中「第七條第一號ニ依ル貸付金」ヲ「年賦償還貸付金」ニ改ム

第二十六條ニ左ノ一項ヲ加フ  
前項ノ期限經過後仍五箇年間ハ北海道拓殖銀行ハ前條政府ノ引受ケタル株式ニ對スル配當金ヲ悉皆準備金ニ繰入ルヘシ

○政府委員(若槻禮次郎君) 北海道拓殖銀行法ニ據リマスト、其社債ヲ出シマス制限ガ、公共團體ニ貸付ケテ居リマスモノ以外ノ年賦償還金ノミヲ制限致シテ居リマス、所ガ其後北海道公共團體ノ制度ガ出來マシテ、公共團體ニ向テモ年賦償還金ヲ無抵當アナスコトガ出來ルヤウニナリマシタ、其タメニ發行制限ノ所ニ加ヘテ見返リ擔保ヲ致シマスル必要ガアリマシテ、此一點ヲ附加ヘルノト今一ツハ北海道拓殖銀行ニ對シテ政府ガ株式ヲ持テ居リマスガ、政府ノ株式ニ對シテハ一定ノ年限間配當シナクテモ宜イト云フコトニナリテ居リマス、是ガ明後年ニナルト年限切レルノデアリマスガ、然ルニ此北海道拓殖銀行ハ樺太ニモ仕事ヲ引伸バサナクテハナラズ、又北海道ニ於テモ益々低利ノ貸付金ヲサセテ、拓殖ノ事業ヲ完ウセシメナケレバナリマセヌカ、ソレガタメニ銀行ノ基礎ヲ固クスル必要ガアルノデ、此政府ノ持テ居ル株式ニ配當スベキモノヲ、尙五箇年間積立テ、銀行ノ積立金ニシテ、基礎ヲ固クサセヤウト云フ趣意ニ出デタモノデアリマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御質問ハアリマセヌカ 無イト認メマス、議事日程第十二

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○元田肇君 是モ議長指名九名ノ委員ニ付託サレンコトヲ希望シマス  
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ御發議ニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ其通り決シマス 議長ハ是ニ於テ松田源治君ニ向テ一言シマス、先刻松田源治君ガ演壇ニ於テ演說サレタ中、議院法ニ少シク抵觸スルトコロガアルト思ヒマスカラ、無禮ノ言及人身攻撃ニ涉ル分ハ御取消ヲ願ヒマス

○細野次郎君 議院法ノ第何條ニ抵觸シマスカ  
○議長(長谷場純孝君) 第九十二條デス 各議院ニ於テ無禮ノ語ヲ用井ルコトヲ得

ス及ヒ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス」トアリマス

○松田源治君 無禮ニ涉ラタコトハ無イト考ヘマスガ、若シアレバ取消ヲ致シマセウ、私ノ言ウタコトハ首相ニ關係スルコトデ、無禮ニハナラヌト思ウテ居リマスガ、若シアリトスレバ取消モ致シマセウ

○議長(長谷場純孝君) 言葉ノ中ニ少シ無禮ニ涉ラタコトガアルト思ヒマスカラ、取消ヲ命ジタノデス

○松田源治君 無禮ノコトガアルトスレバ取消シマス

○議長(長谷場純孝君) ソレデ宜シイ 報告ヲ致シマス  
〔書記朗讀〕

一理事左ノ通り當選セラレタリ  
請願委員會 望月圭介君 同 井上敏夫君

理事 小河源一君 同 本出保太郎君  
同 稻茂登三郎君 同 福本誠君

○議長(長谷場純孝君) 尙特別委員ノ指名及次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日は是テ散會致シマス  
午後三時十五分散會